

創作投稿コーナー **しよしす**

創作投稿コーナー **しよしす**

<フォト俳句> 加賀谷 健治 (S36E)

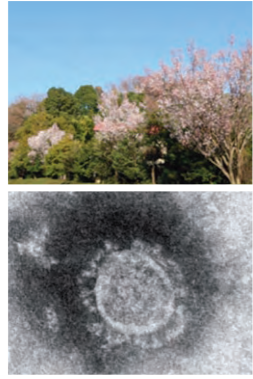
正月



2020年大國霊神社

初詣  
はらう厄無  
喜寿の歳

春



コロナ写真・国立衛生研究所

花の宴  
叶わぬ詠は  
新コロナ

夏



多摩ニュータウンにアートが点在

初夏の風  
アート溢れし  
散歩道

秋



2019年 台風15号

巨木墜つ  
過激な台風  
温暖化

冬



2020年2月東京ドーム国際園展

外は冬  
ドームの中は  
蘭の森

<フォト with 5-7-5> フォト 三平 俊悦 (S39A) 5-7-5 嵯峨 良平 (S43E)



西木村 紙風船

ヒメマス 大きく成長し天高く舞い上がれ

冬天や

紙のヒメマス 空に舞う



角館白岩雲巖寺・長沢芦雪幽霊画

きもち悪いが頼頼み

晩冬の 幽霊やしき

キモ冷えて



鳥海山 法体の滝

紅葉が、柱状節理と滝の流れに見とれてる

秋深し 鳥海の滝 我独り



秋田ふるさと応援団チャリティイベント

だれもがうらやむ可憐なウズベキダンス

ウズベクスタンダンス見て

春きたる

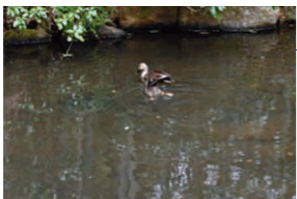


32年ぶり大雪

自宅の海棠咲き始め、雪が重くて苦しい

海棠(かいどう)に

枝しなう雪 身震いす



自宅近く東高根公園

鴨がお尻隠さず餌取、はずかしい

食事中

尻振る鴨の いとしかな

<翻訳> 王子雲 (S43E)

長恨歌

漢皇(玄宗)は色事が好きで美女を探していたが、天子は長年求めることができなかった。楊家に大人に成立てた女(楊貴妃)がいたが、家の奥で育てられたため人に知られていなかった。天性の麗しさを自然に棄て去られるはずは無く、朝廷に選ばれて君主の側にあがった。振向いて微笑めば、種々の愛くるしい様が生じ後宮の化粧も色あせるほどだ。

春寒い華清池で入浴を賜わり、温泉の滑らかな水でつやのある白い肌を洗った。侍女が助け起こした体はきしゃで力が無く、こうして新たに承恩を受けた。柔らかな髪と、花顔に揺れる金飾り。芙蓉(蓮の花)模様のとばり(カーテン)に暖かい春の宵を過ごす。春の夜は非常に短く、日が高く上がってから目を覚ますので、これ以降君王は朝務をしなかった。

途切れることが無い宴ではべる。春は春に遊び、夜は夜でもっぱら彼女だけがはべる。後宮には美女が三千人いたが、三千人の寵愛を一身に受けた。贅を尽くした部屋で、艶(なま)めかしい化粧を凝らし、夜にはべり玉楼の宴が楽だった春に酔う。姉妹兄弟は皆列士に出世して、一門は光り輝やいた。

遂に世の中の父母に、男の子が生まれるよりも女の子が生まれるのを願うようにさせた。高い所にある驪宮(りきゅう)には青雲がかかり、音楽が風に吹かれてあちこちに聞こえる。ゆったりとした歌や舞。楽器が凝らして演奏し、王は一日中見ているも飽きなかった。突如漁陽(地名)の陣太鼓が地を揺り動かして来て、霓裳(いざいしょう)羽衣の曲が砕け散った。

九重の王宮に煙と埃が上がり、軍は西南へ落ちて行った。かわせみの天子の旗は揺れては止まり、都の西の門を出て100里(50~60km)の所まで来た。六軍(皇帝の軍)は如何とも進まず、流転して来た美媚(楊貴妃)は天子の馬の前で死んだ。地に落ちた花飾りを拾う人は無い。かわせみ飾りが跳ね、金の雀玉も、玉こうがい(髪止め棒)も。

君王は助けることができず顔を覆い、振向いた顔に血の涙が流れた。黄塵は散り、風はわびしく満ち、雲が絡みつくような架け橋を剣閣へと登る。峨嵋山のふもとを歩く人

漢皇重色思傾国 楊家有女初長成 天生麗質難自棄 回眸一笑百媚生

春寒賜浴華清池 侍兒扶起嬌無力 雲鬢花顏金步搖 春宵苦短日高起

承歡侍宴無間歇 後宮佳麗三千人 金屋粧成嬌侍夜 姊妹兄弟皆列士

遂令天下父母心 不重生男重生女 仙樂風飄處處聞 尽是君王不足驚 破霓裳羽衣曲

九重城闕煙塵生 翠華搖搖行復止 六軍不發無奈何 花鉞委地無人取

君王掩面求不得 回看血淚相和流 黃埃散漫風索索 雲棧繁紆登劍閣 旌旗無光日色薄 聖主朝朝暮暮情

御宇多年求不得 養在深閨人未識 一朝選在君主側 六宮粉黛無顏色

溫泉水清洗凝脂 始是新承恩澤時 芙蓉帳暖度春宵 從此君王不早朝

春從春游夜專夜 三千寵愛在一身 玉樓宴罷醉和春 可憐光彩生門戶

梨園子弟白髮新 椒房阿監青娥老 孤灯挑盡未成眠 耿耿星河欲曙天 翡翠衾寒誰與共

千乘万騎西南行 西出都門百余里 宛轉蛾眉馬前死 翠翹金雀玉搔頭

上は天空から下は黄泉まで、果てなく広い両方を探したが見つからなかった。ふと海上に仙山があるのを聞いた。それは何もない所に、山はかすかに見えた。緻密な細工の楼閣には五雲が起り、その中にしな

会社を定年退職し毎日が休日になったある日に、西安旅行に行ったとき、長恨歌を思い起こされ翻訳してみようと思った。訳した写しを詩吟の大和豊山流の川村漢泉家元に進呈したところ、「分かり易くて頭にスーと入ってきた」とのことで、詩吟譜の本に採用頂いた。また冒頭の翻訳ですぐに、400年くらい後に作られた平家物語に似ていることに気が付き、日本文学の古典に影響を与えたことが分かった。長恨歌は、唐時代の玄宗皇帝と楊貴妃の寵愛と安史の乱(安祿山と史思明的の乱)で、蜀(現:四川省)に避難する途中の馬嵬坡で乱の責任を押し付けられて楊貴妃は処刑されたことを叙事詩としたものである。

は少ない。色とりどりの旗に光は無く、日も弱々しい。蜀江の水は青緑で蜀山は青い。天子は毎朝夕彼女の情を想った。

仮御所から月を見ると傷心の様相だ。また夜降る雨や鈴の音(馬に付けた)は断腸の音のようだ。日が過ぎ状況が変わって皇帝の馬車の向きを変えたが、この地を躊躇して足が前に進まない。空しく死んだ馬嵬坡(ばかいざか:地名)の泥土の中に、美しい顔をもはや見ることができない。君臣は互いに顧みて衣を涙で濡れ尽くし、東の都の門を望み馬に任せて帰る。

帰って見れば池も庭も以前のままで、太液池の芙蓉も未央宮の柳も同様だ。芙蓉のような顔と柳のような彼女の眉。これに対して、どうして涙を流さずにいられようか。春風にスモモの花が咲く夜も、秋雨にアオ桐の葉が落ちる時も。西宮の南の庭に秋草が茂り、落葉で階段は紅く染まっているが掃かれていない。

梨園(宮廷楽団)の子弟は、年をとって白髪が見える。椒房(皇后の居所)の女官も年老いた。夕方御殿に飛ぶ螢を見て悄然とする。灯りをひとつだけにしてみても眠れない。長い夜は、遅々として鳴る鼓樓の鐘で始まる。きらきら光る銀河は、夜明けを待っている。おし鳥の瓦には、霜の華が積もり寒々している。かわせみの布団は、誰も共に寝ることなく寒い。

遙か前に生死を別けて幾年、かつての彼女の魂が夢に出ることもない。神通力で魂を呼ぶことができる。臨邛(りんきょう:地名)の道教の僧が都に来ていた。君王が寝返りばかりして眠れないので、教えの方士に頼んで彼女の魂を探させた。雷の如く雲々を掛け貫く気流が流れ、天に昇り地に入ってくる探した。

上窮碧落下黄泉 忽聞海上有仙山 樓閣玲瓏五雲起 中有一人字太真 兩処茫茫皆不見 山在虛無縹渺間 其中綽約多仙子 雪膚花貌參差是

<ことばのあそび> 鈴木 彦之 (S31M)

コロナ(当て字・転名) コロナの猛威が地球を襲う 聞きなれない 関連ことばの覚え方

- ・クラスター(感染者の集団) クラスの人気者
  - ・オーバーシュート(爆発的患者急増) サッカーゴールの大外れ
  - ・ロックダウン(都市封鎖) 強烈アッパーカット
  - ・パンデミック(世界的流行) 昼食はパンとミルク
  - ・大型番犬コロナがうなり声をあげた・・・ウイルス
- 最新型コロナは全安全運転車かな  
世界中が震撼し、活動を凍結させた新型コロナウイルス  
感染が終結したら歌ってみたい歌  
ハ！ あのコロナ、どこ行った ハ！

やかな身の女仙が多く居た。その中に雪の肌・花のような顔の字が、太真(楊貴妃)がいたかどうやら彼女のようだ。

金の御殿の西母屋側の玉のかんぬぎを叩いて、小玉(侍女)から双成(侍女)に取次いでもらった。漢家の天子の使いと聞いたので、幾重のあるとばりの中で彼女の魂は驚いて夢から覚めた。衣服を乱して枕を押して起き上がって歩いた。玉の簾や銀の扉がくねくねと開いた。雲のような柔らかな髪は起きたばかりで一寸乱れていて、花の冠も整わず堂から降りて来た。

仙女の袂(たもと)が風でゆらゆら揺れて挙がり、霓裳羽衣の舞のようだ。玉の容姿は寂しそうで涙が溢れた。それは梨の花の枝が、春の雨に帯びているようだ。思いを込めて、じーと(方士)を見て、君王に礼をした。あの別れは遠く、今では声姿の両方共ばんやりしています。昭陽殿の中での恩愛も絶え、蓬萊宮(死後の世界)の中での月日も長くなりました。

振り向いて下の人間界を望めば、長安は見えずただ塵と霧が見えるだけです。遺品によって深情を示せるので、螺鈿(らでん)の小箱と金のかんざしを持って行ってください。かんざし一つと小箱一つを残すため、かんざしは裂いて黄金の小箱の螺鈿は分けましょう。もし(二人の)心が金や螺鈿のように固ければ、いつの日か天上人間界で逢えるでしょう。

心こもる別れに言葉を寄こしたが、それは二人だけ(玄宗と楊貴妃)が知っている事であった。七月七日の長生殿で、誰もいない夜に話をしました。それは天(空)に在るならば比翼の鳥に、地上では連理の枝になり、仲良いのを願いましょう。天地が非常に長く時間が経きても、この恨みは綿々と絶えないでしょう。

★参照文献/台湾の国立中央図書館出版 詩詞欣賞(唐詩三百選)

★補足: 後半の部分

- ①「比翼の鳥」: 雄と雌が半分ずつの体で、二羽でくっついて飛ぶことができる空想上の鳥
- ②「連理の枝」: 別々の枝が絡まり一つになる枝
- ①②共、夫婦の仲が良い象徴